

梅花講の新たな発展をねがって

— 新 秋田県 宗務所 梅花講長 —



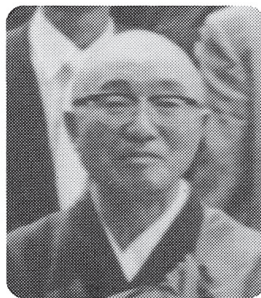
平成11年3月21日
第 15 号

題 字 大館市宗福寺先住
故 加藤信三老師御染筆
発行所 北秋田郡鷹巣町七日市
龍泉寺内
秋田県梅花流師範会事務局
発行者 丹生純雄
編集者 (広報部) 保坂春聡
印刷所 北秋田郡合川町合川
米倉印刷所
☎0186-78-2324

まずもって旧職、宗務所長改選に当り、所長の大役をお引き受け致しました事をご報告申し上げます。また自動的に県の梅花講長を兼ねますので、皆々様の一層のご法援、ご尽力を賜りますよう宜しくお願い致します。

ご存知のように小職は、梅花流師範会の一員でもありません。これは歴代の宗務所長としては初めてではないでしょうか。それなりに梅花への思い入れと梅花流の動向については人一倍大きな関心を抱いており、今後、宗務所としても可能な限り、その振興に寄与したい所存であるのはいうまでもありません。

ところで昨今の梅花講は、全国的にいささか低迷の感があるのとは否定できません。講員の高年齢化、加えて新入講員がほとんど無い現状です。これをどのように打開するのか、師範会でも機会あることにその方策を協議し



合川町
太平寺住職
亀谷健樹

ておりますが、名案を探しあぐねております。しかしながら何としてでも講を増やし、講員数を増加する方向に転換しなければ、明るい梅花流の将来は望むべくもありません。

ただ最近、幸いに県南地区に若い師範さんが誕生したり、新講の設置申請が出たりしております。好転しつつある傾向に拍車をかけるため、どうしても皆様のお力添えを得なければなりません。具体的に申しますと、その第一は「一人一講員勧誘の努力」。第二に「梅花講員

である事の法悦を周囲に広める」ことをしていただきたいのです。

さて終りに、私の任期中にぜひ実現したいこと。その一は本県での梅花流全国大会開催。その二は梅花流大授戒会を修行したいの二点です。勿論さまざまな問題が横たわり、それを切り展いてゆかねばなりません。要は一人ひとりの吹きが大きな声となり、県を挙げての盛り上りを期待してやまないものです。

シリーズ おらほの梅花講

さん 山 じ 寺
しょう 昌 せん 泉
こう 高 りゅう 龍

住所 北秋田郡鷹巣町七日市
設立 昭和三十年十月
講長 佐藤 俊晃
講師 佐藤 俊晃
講員 約百名

私たちのお寺の本堂入口に横幅一間の大きなおさい銭箱があります。この裏書には「梅花流しょうぼうきゅうかい正法教會龍泉寺支部」とあり、続いて会員四十一名の名前、最後に「昭和三十七年正月 寒修行報恩記念」と記されています。現在の龍泉寺梅花講の前身であった梅花流正法教会支部だった頃の活動を伝えるものです。

四十一名の講員は現在、故人となった方も少なくないのですが、中には今年百一歳になって健康な毎日を過ごしている人もいます。そんなおばあさん達からよく昔の話を聞いていました。「一回に法具全部そろえてだっけとつても買ネがら鈴の房ッコのかわりに古くなったキレッコ裂いて使ったもんだ」「みんなして四里も歩いて修行さいつてあがったジェンコで一つずつ今度は撞木だの次は袱紗だのってそろえて来たん

だ」「音符だのって読める人だっけいねがら前の晩に習ったどご畑さ御詠歌の本コ持っていつて練習してらもんだ」。

先代佐藤芳雄住職が早くより梅花流に親しまれたこともあって、龍泉寺では多くの檀信徒が梅花流のお唱えを耳にしています。節分、お彼岸、お涅槃、お盆等の年中行事のほか、お葬式では葬儀、野辺送り、



中国万里の長城にて

七日毎の供養にまで詠讚歌が取り入れられていました。それは梅花の奉詠だけがあるのではなく、どんなときにもお寺の中には、掃除したり、食事の世話をしたり、お茶を

頂いて談笑したりしている梅花講の皆さんの姿が絶えないということでありました。ナンギした話とともによく聞かされたのは「ンでもやっぱりあの頃一番おもしろかった」「七日市の御詠歌って昔はどこのひともほめてくれるものであったヨ」「おじいさん（先代住職）の教えるのは厳しかつたけどもい話ッコもじっぱり聞いたな」という話です。梅花をやって来たことがおばあさん達にとって誇りなんだと思います。

現在、講員の登録番号は百五十番をこえるようになりましたが、その半数はこうしたおばあさん達の家にとついでお嫁さんにあたる方達です。十年少し前、私が住職となったときは皆さん梅花の大先輩で、私の方がまったく初めから教えてもらいました。こうした梅花講を先代から引き継いだことは大切な宝物をいただいたような気がしています。時には検定の練習にかたよったり、単調な詠唱練習に終わったりすることもあるのですが、月二回の練習にはいつも参加してくれています。こうした歳月を重ねた後に「梅花を続けてきてよかった」と、共にふり返ることができたらありがたいことと思います。

紹介者 講長 佐藤 俊晃

ハナミ ナムナム
☎ 018-873-7676
テレホン梅花

- 3月20日～大聖釈迦牟尼如来御詠歌 P37
 - 27日～大本山永平寺第一番御詠歌 P57
- 4月3日～大本山総持寺第二番御詠歌 P63
 - 10日～坐禅御詠歌 P35
 - 17日～高祖承陽大師修行御和讃 P133
 - 24日～太祖常濟大師修行御和讃 P139
- 5月1日～追善供養御詠歌 P229
 - 8日～無常御詠歌 P215
 - 15日～花供養御詠歌 P191
 - 22日～大本山永平寺二祖国師讃仰御和讃 P169
 - 29日～大本山総持寺二祖国師讃仰御和讃 P175
- 6月5日～追善供養御和讃 P225
 - 12日～追善供養御詠歌 P229
 - 19日～地藏菩薩御和讃 P107
 - 26日～地藏菩薩御詠歌 P111
- 7月3日～追弔御和讃 P221
 - 10日～観世音菩薩御和讃 P95
 - 17日～観世音菩薩御詠歌 P99
 - 24日～平和祈念御和讃 P237
 - 31日～戦災精霊供養御和讃 P241
- 8月7日～盂蘭盆会御和讃 P205
 - 14日～盂蘭盆会御詠歌 P209
 - 21日～大聖釈迦牟尼如来讃仰御詠歌 P93

※リクエストや、ご意見、ご感想等をお待ちしております。

〒010-0111 秋田市金足岩瀬字前山3

東 泉 寺 宛

投稿

しあわ
幸せの
なや
悩み

梅花検定の二三日前のことでした。スーパーでの買物の途中に友達に会いました。女どうしですものスグに立ち話。私「いま習い事(梅花検定)が通るか通らないかの瀬戸際で頭がいつぱい」と言っ

受話器から梅花が聞こえる

たら
友「それは幸せな悩みだ」と言う。
思い起せば十一年前、主人に先だたれ生
きる望みをなくしていた時、梅花の道に誘
って頂いたのは、秋田市土崎の蒼龍寺梅花
講でした。
和讃や御詠歌から生きて行く道をいろい
ろと教えてもらいました。また歌あり踊り
ありくじ引きありの本当に楽しい新年会。
県大会、そして旅行もかねた全国大会に行
く時は、余興の踊りまで教えてもらおう楽し

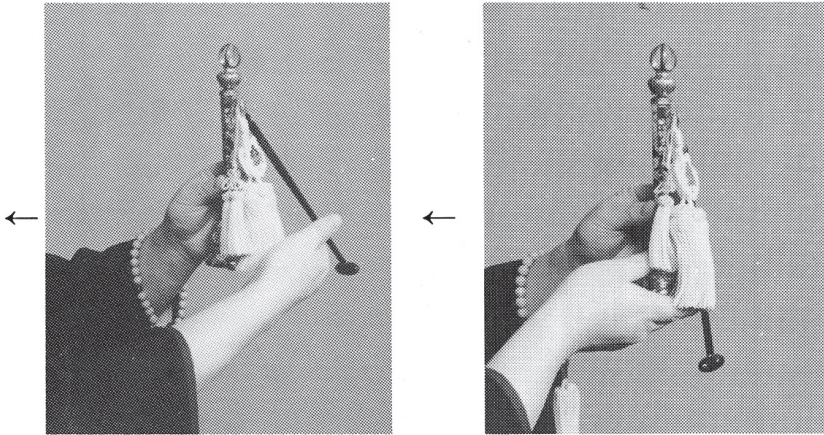
いとこです。
これも蒼龍寺の方丈様や奥様が、檀家
あるなしに関係なく受け入れて下さること
によるものです。その広い心に本当に感謝
申し上げます。
更に感謝するのは、良き師「先生」と良
き「先輩」に恵まれたことです。これを私
の生涯の友として生きたいと思っております。
同行御和讃を口ずさみながら、今日を生き、
明日へと継げたいと願っております。

秋田市 高橋 静

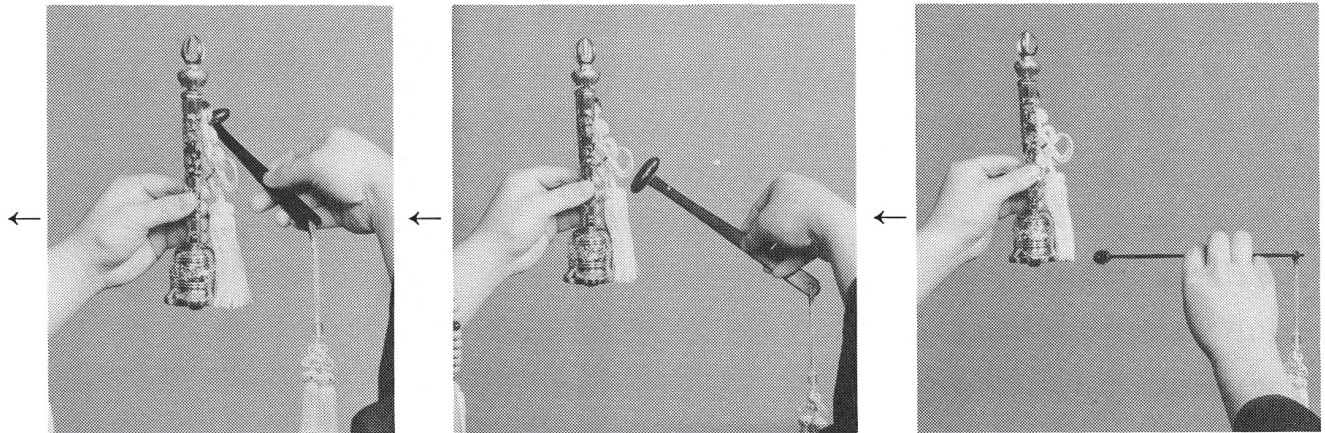
基本作法 (6) りつぎょう 立行

屋外での奉詠や、屋内でもイスに腰掛けての奉詠、立っての奉詠、堂内を歩きながらと、立行は奉詠の機会を広げられます。

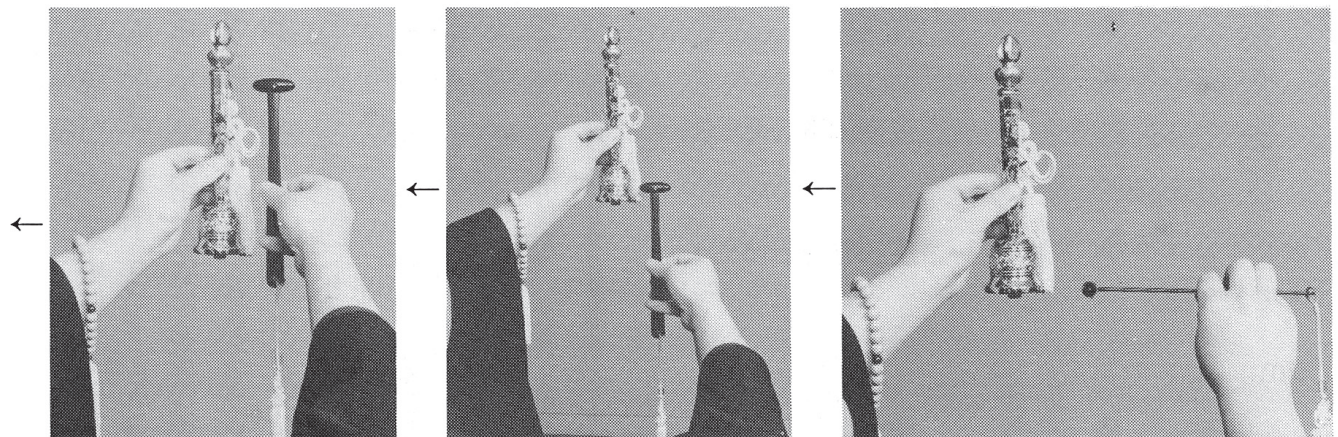
しゅもく 【撞木のはずしかた】



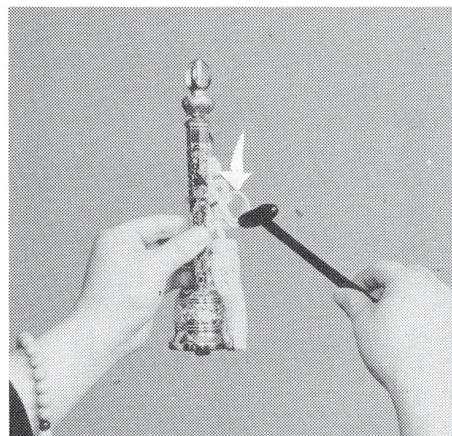
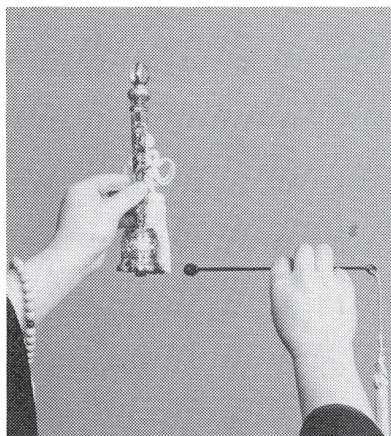
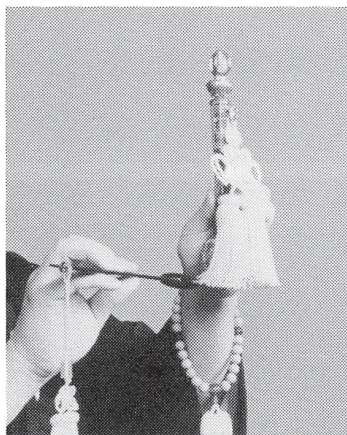
【撞木の掛け方】



【立行の基本所作（打鈴胴）】



写真で見る



立行を身に付けて、野外での奉
詠や堂内を巡る、巡堂にも挑戦
して下さい。

撮影協力 森吉町米内沢
御所野写真様

梅花流講員一泊研修会

於：山本郡藤里町 宝昌寺
平成10年11月4日・5日



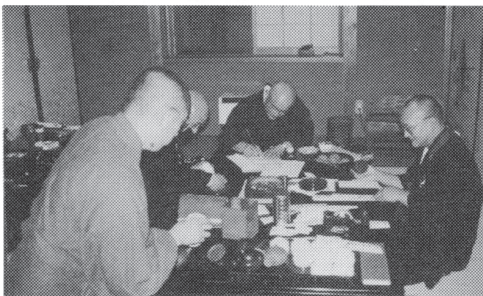
メモを取っての受講

このたびの研修会では、御老師様師範の先生方から、優しくていねいな御指導を頂きまして、とても感謝しております。

特に夜に勤めました「万灯供養」の法要は、^{おごそ}厳かで、しめやかで、しばしのあいだ仏様に逢えたような気がして心が和みました。そして私自身の^{ぼの}煩惱も無くなり、仏様になれたひと時でした。

宝昌寺の皆様には、至れり尽くせりのサービスを頂戴致しまして、本当にありがとうございます。これからも梅花流詠讃歌を学び日々精進したいと思っております。

私は、梅花に生きがいを求めて早くも八年になりました。苦しい



ウラ方の皆さん

とても大事なものです。これからも、この素晴らしい研修会に参加させて下さいますよう、宜しくお願い致します。ありがとうございました。

八森町 松源院梅花講 佐藤憲子

時、悲しい時、淋しい時、困った時、いくつもの日々にも御詠歌の歌詞を思い、口ずさむと、自然に同行同修のよろこびがありました。

梅花は奥が深く、勉強しても勉強しても、その度に新しいものが見えてきて、楽しくて興味が増してきます。仕事も大事で頑張っておりますが、梅花も私の心の財産です。

平成11年1月25日・26日

於：秋田温泉「さとみ」

宗侶寺族一泊 研修会に参加して

先年「梅花流師範養成所」を卒業した私にとって、県外からの正伝師範老師の教えを受けられるという話しでしたが、実を言うと、最初は余り乗り気ではなく（足がいたくなるので……）しかしながら事務局がいつもお世話になっていて龍泉寺様で「これで行かないと後々都合悪いな」などと考え、出席の返事を出しました。ところが研修会のちやうど一週間前、養成所の同期会があり、当時、一緒に勉強した仲間の精進のすごイこと。同期会の講習会では、私は曲を思い出すのに汲々しているのに、皆あたり前の様に朗々とお唱えしている。その後「今度、三級師範の検定を受けるんだ、君は受けるの」などと聞かれ、「コリヤマズイなあ」と思い心機一転、参加させて戴きました。

永田正伝師範老師、柴田師範老師、ともに体調がすぐれない中、わかりやすく、親切的な教授法、そして励ましの言葉は私の様なグータラ師範に

主催：秋田県梅花流師範会

講習内容

地元の宝昌寺の
講師さんの感想

○ 前回は地元なので通いましたが、今回初めて自分のお寺に泊まり楽しかった。
(チエ子)

○ すみれ組に入り思いっきり声を出してもよいと言われ、思いっきり声を出せて気持ちよかった。(マサエ)

○ ひまわり組ではていねいに教えてもらい肝心なところが身につけていないことを改めて感じました。白房の人はさすが立派で、これまでにない一生懸命やったんだと思いました。

日々につとめを果たしては
夕べに思う仕合せよ

○ 参加して良かったと思いました。師範の先生、お寺の奥さんありがとうございました。
(幸)

○ とても疲れました。これぐらいで疲れるなんて日頃のなまけを反省しました。
(フミ)

○ とてもていねいに教えてもらいました。時間が足りなく思いました。(ちよ)

○ 万灯会は初めてでとても感動しました。
(タミ)

○ この頃少し真剣さに欠けていたので反省しました。
(カネヨ)

4日

10:30~11:50 全体講習	1:00~2:10 分科講習	2:40~3:50 分科講習	4:10~5:10 全体講習
勤行式 基本所作 渡辺紫山師範 法具の扱い	【ばら組】 柳川浩二師範 誓願	【ばら組】 渡辺紫山師範 溪声	柳川浩二師範 万灯供養と報恩供養御和讃
	【ひまわり組】 岩館祖芳師範 同行	【ひまわり組】 柳川浩二師範 梅花	
	【すみれ組】 渡辺紫山師範 涅槃	【すみれ組】 岩館祖芳師範 紫雲	

5日

8:30~9:30 全体講習	10:10~11:20 分科講習	1:00~2:00 全体講習	2:30~3:30 分科講習
立行所作の基礎 細谷裕昌師範	【ばら組】 岩館祖芳師範 立行/紫雲	法事供養と梅花流御詠歌 岩館祖芳師範	【ばら組】 細谷裕昌師範 妙鐘
	【ひまわり組】 渡辺紫山師範 立行/菩提		【ひまわり組】 岩館祖芳師範 月影
	【すみれ組】 細谷裕昌師範 立行/地藏		【すみれ組】 佐々木賢龍師範 追弔

永田正道正伝師範 →



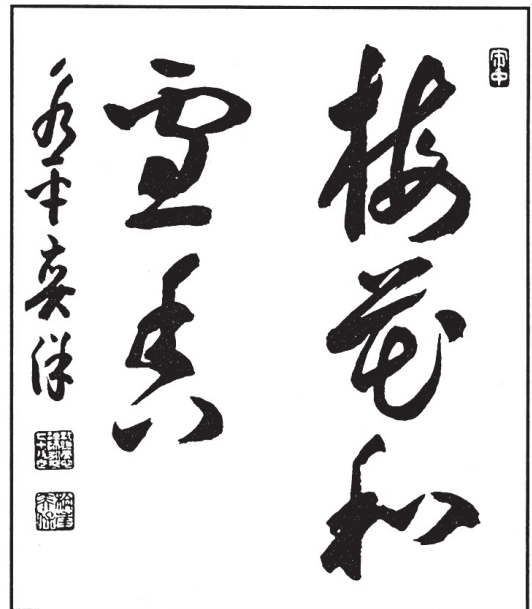
はともありがたく、そして恥ずかしくもありました。次回はぜひ、もう少しだけ厳しく叱っていただければ幸いです。

永田師範老師には遠い所わざわざお越し頂きましてありがとうございます。



また、機会がありましたら御教授していただきたいと思いたすので、みな様宜しくお願いいたします。

大館市
信正寺
蕨谷達徳



平成10年 秋田県奉詠大会記念色紙
大本山永平寺貫首 宮崎奕保 禅師様のご染筆



梅 うめ 万 まん
朶 だ
（注、朶は花や実がついて
たれさがった枝のこと）

永 えい 平 へい 奕 えき 保 ほ



梅花和 ばいかゆきにわして
雪香 かんばしし

永 えい 平 へい 奕 えき 保 ほ



あ り ぐ せ

奉詠大会予定

◎全国大会 五月十九日・二十日
会場 長野市 ビックハット

◎秋田県大会

○県北奉詠大会 七月十五日（木）
会場 大館市 市民文化会館

○中央・県南奉詠大会 八月二日（月）
会場 由利郡西目町 シーガル

検定会予定

◎県北地区（9・10教区） 九月十日
会場 ニッ井町 ヘルセンタ―

◎県南地区 九月十六日
会場 大内町 楠山荘

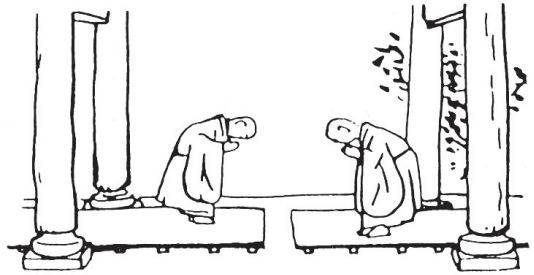
◎中央地区 九月二十二日
会場 秋田市 さとみ温泉

◎県北地区（11・18教区） 九月二十二日
会場 大館市 北秋クラブ

◎三級教範 十月二十日
会場 秋田市 さとみ温泉

チヨット ぶじよほう

外国スカウトが来る!



昨年夏、ボーイスカウトの祭典第十二回日本ジャンボリーが、本県で初めて開催されました。会場の森吉町の森吉山麓には国内外から約三万人のスカウトが集まり、一週間にわたって野外活動を通じ交流を深めました。

問題はその後でした。「三泊四日でアメリカミネソタ州のスカウト九名のホームステイを引き受けてくれ」とのこと。お盆を間近に控え、請けかねると思いましたが、スカウトの三つのちかい(梅花のお誓いと同じ)の冒頭に「仏(神)と国とに誠を尽くし・・・」とありますから、それに当団(秋田二十五団)のスカウト・リーダー・父母・OBが協力することになり、引き受

けました。

八月七日夕方六時到着予定が、角館に着いたのは午後八時近く。スカウトは疲労困憊、皆汗臭く無口。私も二十四年間スカウト・リーダーとして、色々な大会に参加させて戴きましたので解っているつもりです。早速、今夜は角館温泉(花葉館)に泊って頂き、お風呂・食事・明日のミーティングと出来るだけ早く休んでもらおうと思っただが、文化の違い、お風呂には海水パンツでドッポーン!。これには爺チャも父チャもびっくり。



習字はアートです

二日目は、洗濯後「わらび座」鑑賞、言葉は解らなくても喜んで貰えたようです。滝巡り散策、鍋っこ、陶芸の実習、これは残念ながら興味が湧かなかったようである。夜は、当団のスカウト・リーダー・父母・OB会等八十余名とのバーベキューを囲ん

での交換会。お山囃子・太鼓に踊り・歌ありゲームに花火と、片言の英語でも賑やかな交換会であった。

お寺に泊ったが、本堂玄関の板の間には土足、しかし後からスカウト仲間の話し合いで解ってもらいました。

三日目の朝、坐禅(スワレナイ!、でも二十分)正座(デキマセーン)畳(ハジメテデース)朝食はお粥と胡麻塩に梅干し、興味は示すがダメでした。その後は習字、これは非常に興味あり。角館の武家屋敷見学、そして当団のスカウトハウス(デン)に案内、ここには一昨年用意したモンゴルテント(パオ)二棟が有り、大変うらやましがられました。

この頃になると、片言の言葉でスカウト同志和気あいあい・・・然しながら、日本語を少し覚えて来てよネー。

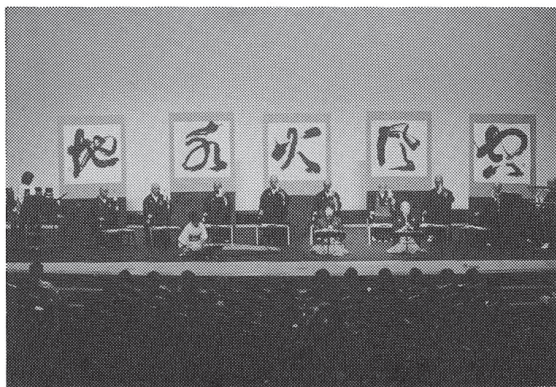
四日目、いよいよ別れの日。駅には二十名程のスカウトが来て、にぎやかな涙なしの別れであった。その後文通やら国際電話で交流も続いているようである。大きな成果を残したジャンボリーでした。

弥栄

角館町 龍巖寺

住職 伊藤道嗣

尺八と書／禅への誘い 第7回 鈴慕会



平成10年10月17日 秋田市アトリオン

新副所長は九項の「チョットブジョホー」を書いて戴いた龍巖寺様、元梅花主事の正法院と協力をしたいものです。

夢を現実に咲かせる為にも、私たちも努力と協力をしたいものです。

梅花に懸ける情熱は人一倍のものがあります。県内一円に花咲かせる為にも、また

◎巻頭に一文を載せてくれましたのは、昨年末に新秋田県宗務所長に就任した、元師範会長の太平寺亀谷健樹老師です。

編集後記



◎「難儀しましたネ!、大雪になったこの冬の除排雪作業は。でも海岸部では黒々とした地面が顔を出し始めております。梅花咲く春はもうすぐです。

◎「写真で見る基本作法」も第六回となりました。ご覧のとおり、これを見ただけでは手は動きません。ちゃんとした指導者について修練して下さい。「同行」は其のときの教材に使って頂ければ幸いです。

◎読者の皆さんの、ご意見や感想を待っています。皆さんの声が、これからの紙面を充実させていきます。当紙もお陰様で十五号にまで続きました。関係して頂きました皆様に感謝申しあげます。

(春聴記)

禅センターの梅花講習会

まったく初めてのあなたから超ベテランのあなたまで、来て見て下さい。

檀信徒講習会

- ◎4月9日 釈尊花祭御和讃・釈尊花祭第一番御詠歌
講師 柿崎隆穂師 伊藤道人師
- ◎5月14日 高祖承陽太師御詠歌(紫雲)を主に
講師 柳川浩二師 伊藤道人師
- ◎6月11日 高祖承陽太師第一番御詠歌(梅花)を主に
講師 三浦賢翁師 保坂春聴師
- ◎7月9日 大本山永平寺第一番御詠歌(溪声)を主に
講師 富岳正純師 小野碩英師

毎月第二金曜日 (8月と1月を除く)
午前10時30分～午後3時迄

宗侶寺族講習会

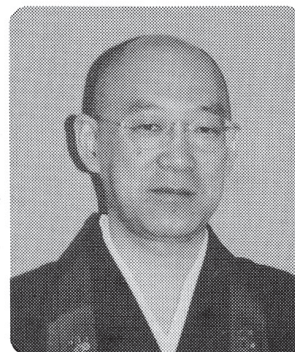
- ◎4月15日 釈尊花祭御和讃・御詠歌
講師 山中律雄師
- ◎5月17日 観世音菩薩御詠歌(慈光・浄光)
講師 細谷裕昌師
- ◎7月12日 地藏菩薩御和讃・御詠歌
講師 岩館祖芳師

※時間は 午前10時30分～午後3時30分迄

禅センターは、秋田市天徳寺の近く、平和公園入り口の左にあります。

住所 〒010-0812 秋田市泉三嶽根15-18
電話 018-868-6871

新梅花主事



雄和町
普門院住職
本間雅憲師